

(1月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
だいこん		12,958	98	12,070	53	132	75	3	-	千葉、神奈川産中心の入荷で全体の約9割を占める。神奈川産は12月下旬から入荷量が増加し、1月も同様のペースでの入荷が見込まれる。階級はL中心と販売しやすい状況。千葉産は1月から2月が年間で最も少ない時期。少なめの入荷が続いているが1月も入荷増は期待できない。階級は2Lの割合が少なく、Lが中心となる。全体の入荷量は前年を下回り、価格は安値だった前年を上回る見込み。
にんじん		7,332	95	7,153	96	103	98	-	-	千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。千葉産は全般的に小ぶりの仕上がり。年内は前年比90%の出荷となったが、年明け後も前年を下回るペースでの出荷となる見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
はくさい		12,535	100	12,755	38	145	46	-	-	茨城産中心の入荷で全体の8割を占める。茨城産の作柄は平年並みとなる予想。階級は4玉が中心となるが平年よりもやや小ぶりである。全体の入荷量は前年並みで、価格は前年を大きく上回る見込み。
ほうれんそう		1,932	100	1,846	338	104	454	1	-	埼玉、茨城を中心とする関東産が市況をリードする。埼玉産の入荷量は11月、12月とも前年を割り、少ない状況が続いている。1月は年明けの出荷に重点をおいている産地もあることから量的には前年並みを確保する見込み。茨城産はちぢみほうれんそうが6割、レギュラー4割。ちぢみの割合が1割減少。1月中旬にピークとなり、入荷量は前年並みの見込み。全体の入荷量は前年並、価格は前年を上回る見込み。
キャベツ類		13,372	97	12,376	64	125	95	-	-	愛知、千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。愛知産は生育が遅れており、1月前半は入荷量が前年を下回る見込み。1月としては前半の入荷が少ない分前年を下回る見込み。千葉産は例年よりも小ぶりの仕上がり。入荷量も前年を下回る見込み。全体の入荷量は小ぶりで出荷量も伸びないことから前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
ねぎ		5,367	105	5,186	229	79	228	28	0.1	千葉、埼玉を中心とする関東産が市況をリードする。千葉産は生育順調。出荷ピークは年末から1月まで続く見込み。階級は2L中心で入荷量は前年を上回る見込み。埼玉産は年内と同じ入荷ペースで、平年並みの入荷見込み。全体の入荷量は不作だった前年を上回り、価格は高値だった前年を大きく下回る見込み。

(1月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実 績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
レタス類		8,475	95	7,463	147	156	239	-	-	静岡、香川産中心の入荷で約6割を占める。香川産は12月中旬まで少なかった分、下旬には前年比80%まで回復。1月にはほぼ前年並みとなる見込み。 - 静岡産は生育順調。入荷量は豊作だった前年を下回るが前年並を確保する見込み。全体の入荷量は豊作だった前年を下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。
きゅうり		4,612	100	4,921	466	101	414	-	-	千葉を中心とする関東産、高知などの暖地産が市況をリードする。千葉産は順調な出荷が続いている。加温を控えているため、1月は天候次第で入荷量の変動はあるが、作付けが前年並みであることから前年並みの入荷を見込んでいる。高知産も生育順調。年明けからまとまった量が入荷し、中旬にはピークとなる見込み。全体の入荷量は前年並、価格は前年をやや上回る見込み。
なす		1,541	100	1,657	385	102	393	-	-	高知、福岡産中心の入荷で全体の約6割を占める。高知産は生育が遅れており、年末から出荷が始まる。量が増えるのは1月中旬以降となる見込み。作付けは前年並み。福岡産は前年に比べ少ない出荷が続いており、1月も前年を下回る見込み。全体の入荷量は不作だった前年並、価格は前年をやや上回る見込み。
トマト		5,109	98	5,012	298	117	329	-	-	愛知、熊本の暖産が市況をリードする。愛知産は作型の切り替えがあり、1月としては前年をやや下回る見込み。熊本産も現状はやや少な目の出荷が続いている。1月は12月よりも入荷量は減少する見込み。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を上回る見込み。
ピーマン		1,250	95	1,351	597	111	564	-	-	宮崎、高知、茨城産中心で全体の約8割を占める。宮崎産は秋の天候不順により12月は前年の70%の入荷にとどまった。1月もこの流れは変わらず入荷量は前年を下回る見込み。高知産は年末から入荷増が見込まれ前年を上回る見込み。茨城産は面積減から入荷量は前年を下回る見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
ばれいしょ		8,214	105	7,292	93	113	115	-	-	北海道産中心の入荷で市況をリードする。北海道産は作柄は前年並みであるが在庫量は前年を上回っており1月の入荷量は前年を上回る見込み。価格も前年を上回る見込み。

(1月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実 績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平 均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
たまねぎ		8,203	102	8,401	81	93	95	-	-	北海道中心の入荷で全体の約9割を占める。今年は北海道産の在庫量が多く1月の入荷は前年を上回る見込み。全体の入荷量は前年を上回り、価格は前年を下回る見込み。